

登録コード	EKG10500	開講年度	2026					
授業科目	特別支援教育課題特別研究					担当教員	奥村 真衣子 他	
英文授業名	Special Study in Special Needs Education					副担当	上村 恵津子・戸谷 健史・楠見 友輔・下山 真衣・宮地 弘一郎	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		履修学年	1年
講義室				授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】					【授業の達成目標】		
	2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ, 2 4 E Aカリ							
	教育の専門職としての学識・技能					特別支援教育の研究者として必要な学識と技能を身につける		
	教育現場の諸課題の背景にある関係構造に気づく視点					特別支援教育現場の諸課題の背景にある関係構造に気づく視点を身につける		
	2 4 E Aカリ							
	既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力					特別支援教育の研究を自ら展開しまた発展させるための、既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力を身につける		
(2)授業の概要	受講生は各自の関心及び特別支援教育領域上の課題に基づき，テーマを設定（問いを立てる）し，研究テーマに造詣の深い教員（複数の）の支援を受けながら，実態把握，教材分析，情報収集，文献解釈，調査方法・データ分析法を駆使しながら研究を行い，最終的に研究論文としてまとめる。資料を比較して利用したり，一貫した議論を組み立てたりすることで，未知の知識を作り出していく学習を行う。研究室での討議の他に，合同での論文構想発表会や報告会を行い，より多角的な視野から研究を進められるようにする。また、各自の研究課題に合わせて特別支援学校での実務経験のある教員による指導も受ける。 本科目を通して次のことを習得する。特別支援学校，特別支援学級における校内研究の中心となると共に，地域の研究会等でも活躍し，地域の教育研究全体の底上げに寄与できるための，研究手法および成果発表の方法を学ぶ。本科目では特に，特別支援教育の現状を整理し研究計画を策定し実行する方法論を学ぶ。 自らの課題・研究領域における実践研究の遂行と論文執筆体験（自ら問いを立て，証拠を集め，論理を組み立てて，答えを示し，相手を説得するプロセスの経験）を通して，科学的思考と客観的事実に裏付けられた教育開発（カリキュラムや授業方法を自らデザイン，検証，改善）ができるようになる。 同僚や研究者に向けて書く・報告する，コメントを受けて応答する，議論することを通し，信念や心情ではなく，検証可能な事実にもとづいて，根拠のある発言をし，知見を互いに高めあう（かみ合う）議論ができるようになる。							
(3)授業計画	授業は，個々の受講生の主体的探求にもとづいておこなわれるものであり，研究テーマや進捗状況に沿って支援・指導は行われる。本演習は，研究テーマの設定，研究手法の決定，研究の遂行，研究論文の執筆方法解説，研究論文の執筆，研究論文の発表とそれにもとづく討論，の各過程からなる。特別支援教育課題特別研究 は，～、特別支援教育課題特別研究 は ～を行う。ただし，研究は研究領域・対象に応じて多様で，リニアーに進行するものではなく，現場やフィールドとの絶えざる往復が必要。以下はあくまで一つの流れを示した例示に過ぎない。 第1回：ガイダンス（授業の目的と予定，受講上の注意，成績評価の方針） 第2回：学術論文の基本的構造 第3回：学術論文の手法 第4回：テーマ設定(1):関心の所在 第5回：テーマ設定(2):教育との関連 第6回：研究の手法(1):文献の収集と整理 第7回：研究の手法(2):分析と考察 第8回：先行研究の検討（資料収集） 第9回：先行研究の検討（対象領域の研究を整理し批判的に検討） 第10回：先行研究の検討（方法論の共通した論文の検討） 第11回：研究計画書を書く 第12回：研究計画書の吟味 第13回：研究計画の報告会 第14回：研究のデザイン							
(4)成績評価の方法	各回の取り組み・発表（30％），研究計画の内容（50％），研究計画のプレゼンテーション及び質疑応答（20％），によって評価する。評価割合は，若干の調整を行うことがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可							
(5)履修上の注意	・内容によって，授業日程や開催場所を変更することがある。 ・履修に当たっては，自らの研究課題を考慮し，指導教員と相談の上で決定すること。 ・自ら課題を設定し，主体的に研究を進めること。わからないことがあれば質問をする。各自，研究テーマに関連した文献等を国際的な動向を含めて図書館などで検索・収集すること。他の受講者が発表する際には，積極的に意見を述べて討論すること。							
(6)質問,相談への対応および連絡先	オフィスアワー：担当教員への質問・連絡方法は，各自担当教員と相談して決定すること。							
(7)成績評価の基準	以下の（ ）から（ ）のすべてを満たしていれば，「卓越している」。4項目を満たしていれば「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある							

(7)成績評価の基準	」。 ()問題の設定が適切である(自らの研究関心に依拠し,新規性・有用性のある問い) ()問題の背景の説明,先行研究との関連づけ・位置づけが的確である ()課題が明確である ()課題に対する解決策(研究方法の選択・研究デザイン・分析)が適切に示されている ()研究計画のプレゼン,質疑応答が適切にできている
(8)事前事後学習の内容について	それぞれの授業で行うことの準備と修正作業を主体的に行うこと。研究テーマは事前に考えておく。修正点を指摘されれば、自ら問題を解決し修正してくる。調査方法や先行研究など、関連した文献等を、国際的な動向を踏まえて図書館などで検索・収集し、内容を整理し報告する。研究計画書を作成する。この授業は90時間の学習を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。
【教科書】	指定しない。
【参考書】	適宜紹介する。